

平成23年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年9月5日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社フジ・コーポレーション

コード番号 7605 URL <http://www.fujicorporation.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 遠藤 文樹

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部部长

(氏名) 多賀 睦実

TEL 022-348-3300

四半期報告書提出予定日 平成23年9月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年10月期第3四半期の業績(平成22年11月1日～平成23年7月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年10月期第3四半期	12,865	18.2	1,239	48.5	1,284	48.7	679	46.0
22年10月期第3四半期	10,884	12.1	834	47.6	863	54.0	465	51.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年10月期第3四半期	144.59	—
22年10月期第3四半期	99.04	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年10月期第3四半期	8,321	4,271	51.3	908.53
22年10月期	7,895	3,678	46.6	782.24

(参考) 自己資本 23年10月期第3四半期 4,271百万円 22年10月期 3,678百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年10月期	—	0.00	—	20.00	20.00
23年10月期	—	0.00	—	—	—
23年10月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

22年10月期期末配当金の内訳 : 普通配当 15円00銭 特別配当 5円00銭

3. 平成23年10月期の業績予想(平成22年11月1日～平成23年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,500	13.5	1,100	32.6	1,150	32.0	600	23.6	127.60

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、【添付資料】4ページ「その他の情報」をご覧ください。

- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 有
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無
(注) 詳細は、【添付資料】4ページ「その他の情報」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年10月期3Q	4,840,000 株	22年10月期	4,840,000 株
② 期末自己株式数	23年10月期3Q	137,917 株	22年10月期	137,917 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	23年10月期3Q	4,702,083 株	22年10月期3Q	4,702,083 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
【第3四半期累計期間】	7
【第3四半期会計期間】	8
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 補足情報	11
販売の状況	11

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間(平成22年11月1日～平成23年7月31日)におけるわが国の経済は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災と福島第一原子力発電所の事故により、経験したことのない混乱を余儀なくされました。しかし、国民挙げての復旧、復興活動により、震災前の状況を取り戻しつつあります。ただし、震災被害の大きな地域や計画的避難区域では、いまだ再建の見通しが立っておらず、原発事故による放射能汚染も収縮する気配すら見えておりません。

このような状況のもと、当社におきましては、お取引先やお客様の暖かい支援に支えられ、震災前の状況まで回復することができました。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は12,865百万円(前年同期比18.2%増)、営業利益は1,239百万円(前年同期比48.5%増)、経常利益は1,284百万円(前年同期比48.7%増)、四半期純利益は679百万円(前年同期比46.0%増)と増収増益となりました。

品種別売上高の状況は、タイヤは7,251百万円(前年同期比29.2%増)、ホイールは4,098百万円(前年同期比3.1%増)、用品は582百万円(前年同期比2.8%増)、作業料は932百万円(前年同期比27.6%増)となりました。また、経路別売上高の状況は、店舗売上高は7,548百万円(前年同期比16.1%増)、通販売上高は3,256百万円(前年同期比11.1%増)、業販売上高は2,061百万円(前年同期比42.2%増)となっております。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期会計期間末における総資産は前事業年度末に比べ426百万円増加の8,321百万円となりました。また、負債は前事業年度末に比べ167百万円減少の4,049百万円、純資産は前事業年度末に比べ593百万円増加の4,271百万円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前事業年度末に比べ289百万円増加の767百万円となりました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果獲得した資金は、717百万円となりました。（前年同期は898百万円の獲得）

これは主に、税引前四半期純利益1,219百万円、減価償却費141百万円、卸資産の増加額244百万円、法人税の支払額463百万円などによるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、292百万円となりました。（前年同期は320百万円の使用）

これは主に、有形固定資産の取得による支出202百万円、無形固定資産の取得による支出88百万円などによるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、135百万円となりました。（前年同期は390百万円の使用）

これは主に、短期借入金の純増加額200百万円、長期借入金の返済による支出225百万円、配当金の支払額92百万円などによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

今後の業績見通しにつきましては、平成23年6月6日に公表しました「平成23年10月期第2四半期決算短信（非連結）」通期の業績予想に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況について著しい変化がないと認められるため、前事業年度において使用した将来の業績予測等を利用する方法によっております。

②税金費用の算出方法

税金費用については、当事業年度の予想税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

①会計処理基準に関する事項の変更

(資産除去債務に関する会計基準等の適用)

当第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、当第3四半期累計期間の営業利益、経常利益はそれぞれ2,509千円減少し、税引前四半期純利益は25,856千円減少しております。また、当会計基準の適用開始による資産除去債務の変動額は61,546千円であります。

②表示方法の変更

(四半期損益計算書関係)

前第3四半期累計期間において、区分掲記しておりました営業外収益「受取手数料」は、重要性が減少したため、当第3四半期累計期間より、営業外収益「その他」に含めております。なお、当第3四半期累計期間の営業外収益「その他」に含まれる「受取手数料」は4,118千円であります。

(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成23年7月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	772,400	482,023
売掛金	519,360	623,567
商品	2,387,762	2,143,373
未収入金	122,209	369,816
その他	224,297	191,022
貸倒引当金	△70	△70
流動資産合計	4,025,959	3,809,733
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,484,271	1,322,636
減価償却累計額	△449,974	△422,539
建物（純額）	1,034,297	900,097
土地	1,499,448	1,499,448
その他	1,508,875	1,392,278
減価償却累計額	△821,816	△742,782
その他（純額）	687,059	649,496
有形固定資産合計	3,220,804	3,049,042
無形固定資産	129,761	76,824
投資その他の資産		
その他	945,385	960,007
貸倒引当金	—	△218
投資その他の資産合計	945,385	959,789
固定資産合計	4,295,952	4,085,656
資産合計	8,321,912	7,895,390

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成23年7月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年10月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	828,394	1,121,840
短期借入金	400,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	800,000	300,000
未払法人税等	351,355	275,359
賞与引当金	12,900	36,010
前受金	130,727	157,151
その他	298,290	294,870
流動負債合計	2,821,668	2,385,231
固定負債		
長期借入金	680,000	1,405,000
退職給付引当金	47,976	39,993
資産除去債務	60,881	—
長期末払金	208,125	208,125
その他	231,272	178,893
固定負債合計	1,228,255	1,832,011
負債合計	4,049,924	4,217,243
純資産の部		
株主資本		
資本金	531,400	531,400
資本剰余金	568,000	568,000
利益剰余金	3,218,105	2,632,253
自己株式	△32,160	△32,160
株主資本合計	4,285,344	3,699,492
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	△13,356	△21,345
評価・換算差額等合計	△13,356	△21,345
純資産合計	4,271,988	3,678,146
負債純資産合計	8,321,912	7,895,390

(2) 四半期損益計算書
【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成21年11月1日 至 平成22年7月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成22年11月1日 至 平成23年7月31日)
売上高	10,884,799	12,865,910
売上原価	7,736,533	8,875,917
売上総利益	3,148,265	3,989,992
販売費及び一般管理費	2,313,361	2,750,431
営業利益	834,904	1,239,561
営業外収益		
受取利息	3,137	4,531
受取配当金	1	1
協賛金収入	29,079	37,057
受取手数料	4,804	—
その他	22,335	24,745
営業外収益合計	59,357	66,336
営業外費用		
支払利息	27,995	21,463
その他	2,437	265
営業外費用合計	30,432	21,728
経常利益	863,829	1,284,168
特別利益		
有形固定資産売却益	2,238	109
特別利益合計	2,238	109
特別損失		
有形固定資産除却損	417	645
ソフトウェア除却損	1,670	6,827
店舗移転損失	7,590	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	23,347
災害による損失	—	34,304
特別損失合計	9,679	65,125
税引前四半期純利益	856,387	1,219,153
法人税等	390,706	539,259
四半期純利益	465,681	679,893

【第3四半期会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期会計期間 (自 平成22年5月1日 至 平成22年7月31日)	当第3四半期会計期間 (自 平成23年5月1日 至 平成23年7月31日)
売上高	2,970,857	3,421,743
売上原価	2,083,124	2,372,899
売上総利益	887,733	1,048,843
販売費及び一般管理費	768,790	887,102
営業利益	118,942	161,741
営業外収益		
受取利息	1,007	1,523
受取配当金	1	1
受取手数料	1,606	2,198
その他	8,271	5,024
営業外収益合計	10,885	8,747
営業外費用		
支払利息	8,206	7,306
その他	857	15
営業外費用合計	9,064	7,322
経常利益	120,764	163,166
特別利益		
有形固定資産売却益	—	109
特別利益合計	—	109
特別損失		
有形固定資産除却損	—	226
特別損失合計	—	226
税引前四半期純利益	120,764	163,049
法人税等	56,611	74,002
四半期純利益	64,152	89,047

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成21年11月1日 至 平成22年7月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成22年11月1日 至 平成23年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	856,387	1,219,153
減価償却費	99,920	141,090
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△19,960	△23,110
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	6,745	7,983
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△208,125	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	336	△218
受取利息及び受取配当金	△3,138	△4,532
支払利息	27,995	21,463
有形固定資産除却損	417	645
無形固定資産除却損	1,670	6,827
店舗移転損失	7,590	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	23,347
固定資産売却損益 (△は益)	△2,238	△109
売上債権の増減額 (△は増加)	99,773	77,783
たな卸資産の増減額 (△は増加)	139,481	△244,388
仕入債務の増減額 (△は減少)	△57,246	△77,643
長期未払金の増減額 (△は減少)	208,125	—
その他	△3,107	48,740
小計	1,154,629	1,197,032
利息及び配当金の受取額	3,132	4,490
利息の支払額	△29,509	△21,285
法人税等の支払額	△229,738	△463,052
営業活動によるキャッシュ・フロー	898,514	717,184
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金等の純増減額 (△は増加)	645	△1,288
有形固定資産の取得による支出	△278,322	△202,713
無形固定資産の取得による支出	△9,950	△88,600
建設協力金の支払による支出	△58,925	△30,000
敷金の差入による支出	△29,920	△13,300
敷金の回収による収入	—	10,000
その他	55,736	33,391
投資活動によるキャッシュ・フロー	△320,736	△292,509
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	200,000
長期借入金の返済による支出	△321,428	△225,000
リース債務の返済による支出	△12,012	△17,833
配当金の支払額	△57,070	△92,753
財務活動によるキャッシュ・フロー	△390,511	△135,586
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	187,266	289,088
現金及び現金同等物の期首残高	411,923	478,094
現金及び現金同等物の四半期末残高	599,189	767,182

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

当社は、カー用品等販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

当第1四半期会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

販売の状況

①品種別売上高

	前第3四半期累計期間 自 平成21年11月1日 至 平成22年7月31日		当第3四半期累計期間 自 平成22年11月1日 至 平成23年7月31日	
	売上高(千円)	構成比(%)	売上高(千円)	構成比(%)
タイヤ	5,613,184	51.6	7,251,538	56.4
ホイール	3,974,048	36.5	4,098,901	31.9
用品	566,868	5.2	582,692	4.5
作業料	730,698	6.7	932,778	7.2
合 計	10,884,799	100.0	12,865,910	100.0

②販路別売上高

	前第3四半期累計期間 自 平成21年11月1日 至 平成22年7月31日		当第3四半期累計期間 自 平成22年11月1日 至 平成23年7月31日	
	売上高(千円)	構成比(%)	売上高(千円)	構成比(%)
店舗売上	6,503,539	59.8	7,548,684	58.7
通販売上	2,931,658	26.9	3,256,223	25.3
業販売上	1,449,601	13.3	2,061,002	16.0
合 計	10,884,799	100.0	12,865,910	100.0